



活発なディスカッションをする青木氏(右)と桐島氏(中央)

「津軽半島に生きる」をテーマに シンポジウム開く

市中央公民館で九月十九日、津軽半島祭協賛「三井シンポジア・トゥモロウ五

所川原」が評論家の桐島洋子、コラムニストの青木雨彦両氏を講師に迎えて開か

れました。これは、市と東奥日報社、青森三友会が主催し、津軽

半島祭実行委員会が協賛して開いたもので、「二十世紀五千里の変革―津軽半島に生きる」というテーマで、講演とパネルディスカッションを行い、これを通して文化的な地域振興の方策を探ろうというもので、本市をはじめ津軽半島の各町村から約三百五十人が参加しました。

桐島氏は、豊富な海外体験を交えながら、また青木氏は、二度にわたって津軽半島を訪れた印象を述べ、ユモアたっぷりの語り口で聴衆を魅了しました。

講演の後、両氏を交えてパネルディスカッションが行われ、伝統を生かした独自の文化を築く方法について活発な議論を展開し、有意義なうちに約三時間にわたるシンポジウムを終りました。

市民憲章 (昭和59年10月1日制定)

昭和63年

№.672

10-1

わたくしたちの先人は、不撓不屈の五所川原魂をもってあらゆる困難を克服し新田を切り開き、今日の活力に満ちた五所川原市を築き上げました。

わたくしたちは、この伝統を継承し、広い視野に立って西北津軽の人々と協調し、郷土の限らない発展を願って、ここに市民憲章を定めます。

- ◎心身ともに健康で、明るい家庭をつくります。
- ◎自然を大切にし、力を合わせて花と緑の美しいまちをつくります。
- ◎平和を愛し、きまりを守り、住みよいまちをつくります。
- ◎文化を尊び、生涯学習をもとに心豊かな人をつくります。
- ◎未来に夢を持ち、創意と実践により栄えゆく郷土をつくります。

毎号とじこんでください。きつとお役に立ちます。

市老人福祉大会

95歳以上長寿者など57人を表彰



森田市長から表彰される方々

市では市民体育館で九月十四日、市社会福祉協議会、市老人クラブ連合会と共催で「第二十五回市老人福祉大会」を開きました。

この大会は、これまで社会に貢献してきたお年寄り達を慰労するとともに、その長寿と健康を祝うもので七十五歳以上のお年寄り約千二百人が出席。

式典では森田市長が「心身ともに健康で長生きをし、しかも社会に奉仕しつづ豊かな老後を送ることができ、活力ある高齢化社会を建設するため、福祉の充実発展に努力していきます」と式辞を述べました。

続いて、九十五歳以上の長寿者十二人と米寿を迎えた四十人、寝たきり老人介護者五人など合わせて五十七人を表彰しました。

また、この日は県老人福祉大会での顕彰状などの伝達も行いました。

その後、来賓として地元選出の成田、浅川両県議と川浪市議会議長がそれぞれ祝辞を述べ式典を終わりました。

式典の後、五所川原警察署のお巡りさんが交通安全の講話を行い、市老連芸能部の「仲間」の歌や踊りなどを楽しみました。

95歳以上長寿者

加藤かよ(一〇二歳 稲実)



小野よし(九八歳 金山)



宮崎うめ(九六歳 新宮町)



山本すへ(九六歳 柳町)



三浦マサ(九六歳 金山)



川村仁助(九六歳 金山)



斎藤テル(九五歳 七ツ館)



青山あさ(九五歳 雛田)



外崎はな(九五歳 藻川)



新谷きよ(九五歳 前田野目)



浅川 巽(九五歳 中平井町)



山川すな(九五歳 太刀打)



88歳に達した長寿者

渋谷たき、小山ゆき(以上幾世森)、高橋賢次郎(柳町)、一戸チヨ(田町)、葛西一次(松島町八丁目)、神キヤ、岩谷ヨミ(以上新町)、川村ナリ、春藤ヤス(以上上下平井町)、松本桓五郎(中平井町)、坂本ソメ、菱谷重吉(以上雛田)、池永ツルヲ(弥生町)、鶴谷キヨ(上平井町)、木村桓五郎(姥芭)、白戸クニ(七ツ館)、笠井ニワ(桜田)、秋田ミサ(川山)、石川イソ、今たま、岩崎サト(以上金山)、寺田市太郎(石岡)、太田又四郎、加藤ナカ、(以上漆川)、島谷寅之助(一野坪)、伊藤ソト(原子)、加藤イサ、小笠原イマ(以上前田野目)、今ミエ、工藤末吉(以上浅井)、工藤キナ(松野木)、齋藤啓吉(梅田)、佐藤きゑ(毘沙門)、長尾そね(高瀬)、渡辺正一、野呂子之助(以上藻川)、開米忠造、川浪チヤ(以上鶴ヶ岡)、横山政吉、鳴海トシ(以上飯詰)

(敬称略)



迅速な救助活動を行う隊員たち

「救急の日」水難事故想定し救助訓練

「救急の日」の九月九日、五所川原地区消防事務組合消防本部(開米奥左衛門消防長)では、市内持子沢の持子沢溜池で救急隊、救助隊による大規模救助訓練を実施しました。

これは、水難事故に対し、消防署員が救急救助業務をより円滑、効果的に行うための訓練で、同日午前十時二十四分、東分署管内の住人から一九番通報があり、

「小舟で魚釣りをしていた男性二人が池に転落し、溺れている」という想定で行われました。

午前十時半、先着した東分署救急隊は岸から約十メートルで溺れている一名を救命浮環を使用して救助。

これより数分後に現場に到着した本署救急隊・救助隊及びスキューバーダイバーは、溜池中央付近の水深約二メートルの位置に仮死状態

沈んでいる一名をダイバー・救助隊の連係で救助ボートに引き揚げ、人工呼吸を施しながら救急車に収容し、約二十分にわたる訓練を終わりました。

訓練のあと、平山消防本部長は、「水難事故に対処するためには、迅速な救助活動が必要であり、これからもこのような訓練を続けていく」と語っていました。

寝たきり老人 介護者

太田ハル(金山)、瓜田チヤ(幾世森)、乗田兼五郎(藻川)、成田栄子(松島町二丁目)、川村セツ(上平井町)

老人クラブ 役員

小野重三郎(旭町旭老会)、三浦藤雄(栄町日光会)、岩谷甚逸、清野又一(以上新宮団地新生会)、石黒稔(梅田老睦会)、土岐誠一(梅田米寿会)、木村勉(飯詰大坊)

会、石岡由次(福山第一長生会)、吉岡勘十郎、秋田秀夫(以上川山幸生会)、秋元喜栄作(金山第一長楽会)

県老人福祉 大会表彰

(伝達)

◎100歳以上の長寿者 加藤かよ(稲実)

◎88歳以上長寿者夫婦 浅川巽・ヒサ(中平井町)、小笠原謙吉・イマ(前田野目)、神吉太郎・キヤ(新町)

◎90歳に達した長寿者 柏原町、三上みゑ(持子沢)、

伝法谷そだ(不魚住)、北村ヨナ、成田スメ(以上飯詰)、原吉五郎(前田野目)、神吉太郎(新町)、工藤みわ(鎌谷町)、工藤とす、小田桐なん(以上米田)、笠井甚作、小山内ツケ(以上松島町八丁目)、境谷つき(錦町)、阿部ナヨ(原子)、上見きぬ(長富)、秋元こと(野里)、渋谷長太郎(難田)、小田桐みね(水野尾)、乗田ちよ(柳町)、浅川ヒサ(中平井町)、長尾そと(鶴ヶ岡)、増田きせ(下岩崎)、佐々木ふさ(柏原町)、三上みゑ(持子沢)、

長尾きよ、菅野みよの(以上東町)、鶴谷芳太郎(上平井町)、館山キヨ(川山)、寺田運治(神山)

◎老人福祉関係 岩木川健造(柏原町柏生会)、三浦義雄(小曲永楽会)、山形四郎(松島町松鶴会)、神由雄(中泉長寿会)、田中良一(川山幸生会)

◎特別感謝 葛西専造(本町寿光会)



長生きのひけつは？

今回、95歳以上で表彰された方12人の「長生きのひけつ」は……

最も多いのが「体を動かす」で4人、次いで「少食で三食をきちんと」と「くよくよしない」がそれぞれ2人ずつ、そして「早寝、早起き」「感謝の心」「何んでもよく食べる」「いつも心をやすらかに」がそれぞれ1人ずつでした。



わかちあう幸せ



10月1日から
赤い羽根共同募金

常設コースオープン記念 グラウンド・ゴルフ大会を開く

市役所裏の南斗グラウンドで九月十五日、「第三回市民グラウンド・ゴルフ大会」が開かれ、十四チームの選手及び関係者など約二百人が参加しました。



グラウンド・ゴルフを楽しむ参加者たち

同大会は、高齢者から子どもまで、いつも明るい笑い声とともに楽しめる「生涯スポーツ」として今、全国的に人気が高い「グラウンド・ゴルフ」の常設コースが開かれたのを記念して市教育委員会が主催して開いたものです。

開会式では、阿部祥吾市教育委員長が「見るスポーツ

から自分でやるスポーツへ積極的に参加し、スポーツの秋を楽しんでください」とあいさつを述べました。この後、競技に入り約四時間にわたって熱戦が展開されました。

上位入賞チームは次のとおりです。(敬称略)

- ◎団体 ①中央B ②みどり町A ③中央A
- ◎個人 ①其田栄治(みどり町A) ②大西あい子(中央B) ③中道恵子(飯詰B)
- ◎ホールインワン賞 須藤静子(飯詰B)、其田栄治(みどり町A)

「市農作物

異常低温気象対策本部」を設置

市では九月二十一日、断続的な低温と日照不足が続いたため農作物に大きな影響が出ているのに対処するため、森田市長を本部長とする「五所川原市農作物異常低温気象対策本部」を設置しました。

本部への連絡は、市経済部農林課(☎☎二二二番内線二七・二二八番)へお願いします。

福祉基金にと30万円寄付

— 松緑神道大和山 —

松緑神道大和山(田沢康三郎教主)では九月十一日、社会福祉に役立ててください

いと市社会福祉協議会に三十万円を寄付しました。これは、九月十日から二



バザー初日に行われたテープカット

日間をわたって同教団が市庁舎前お祭り広場で開いたチャリティバザーの益金の一部を寄付したもので、下山秀悦同バザー実行委員長が齋藤健治市社会福祉協議会事務局長に目録を手渡しました。

このバザーは、開発途上国の病いに苦しむ人達を救うことを目的に開かれているもので、今年で十四回目となります。

初日の開会式では、森田市長が来賓としてお祝いのごとばを述べ、テープカットを行いました。

菊ヶ丘運動公園を清掃奉仕

南小第五学年のみなさん

五所川原南小学校(八木

沢謙一校長)の第五学年の児童と父兄合わせて約百五十人が菊ヶ丘運動公園の清掃奉仕をし、市民から感謝されました。

これは、同学年PTA(小田桐光子会長)が、みんなであまわりの環境をきれいにしよう」と実施したもの

清掃奉仕は正午から約一時間行われ、空き缶や紙くずなど合わせてビニール袋二十五個分を収集しました。その後参加者は、市民体育館で親子運動会を行い、楽しいゲームに歓声をあげていました。



南小第五学年のみなさん 清掃奉仕の様子

出稼ぎをされる皆さんへ

出稼ぎをする皆さん、次のことを是非守って、事故のない明るい出稼ぎをしてください。

ア、出稼ぎ前に、次のことについて家族と話しあっておくこと。

- ①就労計画(出発日と帰郷予定日) ②送金方法
- ③就労先事業所の労働条件を確認すること ④就労先事業所の名称、所在地、宿舎の住所、電話番号(事業所や宿舎を変更した場合はすぐ連絡をすること) ⑤就労先の安定所や監督署等を知っておくこと ⑥グループで出稼ぎする場合はリーダーの氏名を知っておくこと

イ、「労働者直接募集従事者」以外の募集人や手配師等の勧誘で就労しないよう、安定所の紹介で出稼ぎに行くこと。

ウ、出稼ぎ就労先が決ったら、次の手続きをとること。

- ①出稼労働者手帳の交付を受け、身分、家族等の証明をすること ②健康診断を受けること ③国民健康保険被保険者証の切り換え手続きをすること ④出稼者事故見舞金制度に加入手続きをすること

エ、出稼ぎ就労先から帰郷する前に。

- ①帰郷する日を家族へ連絡すること ②雇用保険離職証明書の内容確認をすること ③未払賃金については、就労地の労働基準監督署へ届け出ること

もうすぐ出稼ぎシーズン

◎出稼手帳は必ずかきかえましょう

◎みんなが加入伸ばそう出稼協会

◎健康診断は無事故の第一歩

出発前にかけて安心 事故見舞金制度

出稼者及び留守家族の幸せのために、県と市町村がつくった出稼協会で行う互助制度です。

出稼している人やこれから出稼しようとする人はどなたでも加入できます。

加入した人は、出稼中いつ、どこで災害にあっても見舞金が受けられます。

▶加入申し込み 市民相談室及び市役所各支所の窓口で受付けています。

▶掛金 1人年間 600円です。ほかに、県と市が1人年間 800円ずつ負担します。

▶見舞金早見表

種類	事故・災害の程度	給付額	
死亡見舞金	出稼中(出発から帰宅まで)における死亡、ただし、一時帰省中の死亡を除く。	500,000円	
傷病見舞金	出稼中における負傷又は疾病で休業療養を要するもの	6月以上であるもの	80,000円
		3月以上6月未満であるもの	60,000円
		1月以上3月未満であるもの	50,000円
障見舞金	出稼中における負傷又は疾病による障害で通常の就労を不能とする程度のもの	200,000円	
火災見舞金	加入者の留守宅の火災による焼失(半焼以上)	150,000円	

豊かなくらしと
住みよい社会をつくる
郵便貯金月間

10月1日～31日

郵政省では、毎年10月を「豊かなくらしと住みよい社会をつくる郵便貯金月間」と定め、郵便貯金が手軽で確実な貯蓄手段として、皆さんの毎日の暮らしの安定のために、また、郵便貯金として集められた資金が国の財政投融资の主要な原資として、国、地方公共団体、公庫、公団など各方面に融資され、皆さんの暮らしに関係の深い住宅や学校の建設、道路、水道、公園、ゴミ処理場など生活環境整備などのために活用され、身近なところで「豊かで住みよい社会づくり」に役立っています。

今後とも、郵便貯金に対する皆さんの一層のご理解とご支援をお願いします。

津軽半島祭

津軽半島フォーラム開催

—津軽半島祭実行委員会—

津軽半島祭の一環として、「津軽半島—その伝統と創造」(交流新時代を迎えて)をテーマにフォーラムを開催します。

山崎充先生(静岡県立大学教授)の講演のあと、新たな時代を迎える津軽半島の課題、発展策等について参加者を交えたパネルディスカッションを行い、地域の活性化、産業、経済、文化の発展をめざすものです。多数のご参加をお願いします。

▶日時 10月28日(金)午前10時～午後4時15分まで

▶場所 市中央公民館

▶入場料 無料

※詳しいことは、市秘書企画課内津軽半島祭実行委員会事務局(☎⑤2111番内線318番)へどうぞ。

市消費生活モニター調査結果

市では、5人の消費生活モニターを委嘱し、毎月独自に品目を設定して市民生活に関連性の高い物資などの価格調査を行なっています。

この5人の調査結果の平均を3ヶ月ごとに公表しています。(前回は7月1日号)

買物などの参考にしてください。

(単位:円)

品目	規格	7月	8月	9月
灯油	18ℓ缶入	641	617	628
灯油	1ℓローリー価格	34	34	34
LPガス	5M3	2,782	2,812	2,812
ガソリン	レギュラー 1ℓ	117	116	116
ガソリン	ハイオクタン 1ℓ	140	136	138
軽油	1ℓ現金	67	76	67
牛肉	もも肉 100g	300	348	373
豚肉	もも肉 100g	130	151	152
鶏肉	もも肉 100g	96	92	86
鶏卵	1kg	140	152	165
ハム	プレスハムJAS 上級 100g	214	214	214
牛乳	成分無調整牛乳 1ℓ	226	210	226
バター	225g 紙箱入	374	377	374
食パン	普通食パン	142	142	146
まぐろ	刺身用 100g	152	209	199
いか	するめいか 100g	174	174	135
たこ	まだこ 100g	172	150	150
焼ちくわ	100g	70	66	75
キャベツ	普通品 1kg	122	141	170
ほうれんそう	100g	58	53	81
にんじん	1kg	182	240	132
わかめ	塩 100g	39	53	39
糸こんにゃく	100g	44	43	48
干うどん	250g	91	91	92
干のり	1ちょう 黒のり	553	441	425
豆腐	丸棒形袋入	57	57	64
納豆	丸納豆 100g	71	68	69
味噌	2kg 1袋	554	554	578
しょう油	濃口(本醸造) 特級 1.8ℓ	490	494	494
サラダ油	びん入 1,650g	497	497	487

労働時間短縮を促進する ポスター・標語を募集

労働省では、今年の「ゆとり創造月間」の一環として、労働時間の短縮を促進するポスター及び標語を募集します。

▷テーマ 労働時間の短縮(週休2日制の拡大、残業の削減、連続休暇の拡大など)を促進するポスター及び標語。

▷応募資格 個人または団体

▷応募方法 ○ポスター部門-B2版以上の用紙を使用(折り目がつかないように、筒状に巻いて郵送)。

○標語部門-ハガキに標語を記入(一作品一葉)。

※住所、氏名(団体名)、年齢、性別、職業(学生の場合は学校名、学年)及び電話番号を明記(ポスターの場合はその裏面に)すること。

▷締切 10月15日

▷賞 各部門ともそれぞれ労働大臣賞1点、労働基準局長賞1点

▷応募先及び問い合わせ先

〒100 東京都千代田区霞ヶ関1-2-2

中央合同庁舎第5号館

労働省労働基準局賃金福祉部企画課

(☎03-593-1211番内線5526番)

懸賞論文を募集

地方自治法施行40周年・自治制公布100周年記念懸賞論文を自治省等が主催者となって募集します。

▷テーマ 「21世紀をめざす地方自治」(同趣旨であれば題名は自由)

▷賞金 1席100万円、2席50万円、3席20万円、佳作(5点)5万円。

▷原稿枚数 縦書400字詰原稿用紙20~30枚

▷応募期限 12月末日

▷送り先

〒105 東京都港区西新橋1-7-1

財団法人 自治総合センター

(☎03-504-0841番)

お詫び —市教育委員会—

去る9月15日号の「ママさん体育大会」の記事中、グラウンドゴルフ(団体)の上位入賞チームは①栄小A②松島小B③松島小Aとなります。訂正してお詫びいたします。

消費者講座 開催について

市では、消費者の知識高揚と消費苦情防止の一環として「消費者講座」を開催します。

ご近所お誘い合わせのうえ、多数ご出席ください。

▷日時 10月6日(木)午後1時～3時30分

▷場所 市中央公民館2階視聴覚室

▷内容

1. 映画「訪問販売の被害を防ぐ」
2. 講演「最近の消費者問題」

講師 鶴賀茂世先生(県消費生活センター総括主査)

▷受講料 無料

※詳しいことは、市商工観光課(☎⑤2111番内線260番)へどうぞ。

水道本管清掃のお知らせ —市水道事業所—

水道事業所では、水道本管の清掃を次のとおり行います。

大変ご不便をおかけすることとありますがご協力をお願いします。

▷日時 10月13日(木)～14日(金)

午後10時から翌朝4時まで

※お願い

- 清掃完了後、にがり水が出る場合がありますので充分ご注意ください。
- 飲料水等は、ポリ容器等に確保してください。
- 清掃中不行き届きの点がありましたら元町浄水場(☎④2639番)にご連絡ください。

行政相談のお知らせ

市民のみなさんの行政に対する苦情、意見、要望などについて、無料で迅速に、そして秘密を守り、行政相談員が親身に相談に応じます。お気軽にどうぞ。

▷期間 毎週木曜日 午前10時～午後3時

▷相談場所 市役所市民相談室(木曜日以外の日は自宅で相談に応じます)

▷相談員 稲葉忠司(寺町1-5☎自宅④3606番)
川村昌子(敷島町1-4☎自宅④2519番)

受講生募集

—働く婦人の家—

市働く婦人の家では、次の2講座の受講生を募集します。市内に住所または勤務先をお持ちのご婦人方、ふるってお申し込みください。

◎パンフラワー教室

▷日時 10月19日・26日 午前10時～正午

▷受講料 無料(材料費 約1,000円—ブローチ2個分)

▷募集人員 20人

◎七宝焼教室

▷日時 10月18日・25日・11月1日午後6時30分～8時30分

▷受講料 無料(材料費 1回分 300円～1,000円)

▷募集人員 15人

○申し込み締切 10月14日午後4時

○申し込み先及びお問い合わせ先
市働く婦人の家(☎⑤8898番)

潜在看護力活用講習会 —在家庭看護等トレーニングコース

▷期日 10月24日～28日午前9時～午後3時

▷場所 県看護研修センター(27日—県立青森高等看護学院)

▷受講資格 保健婦、助産婦、看護婦及び准看護婦の免許所有者で、現在看護業務に従事していない人。

▷受講料 無料

▷申し込み先及びお問い合わせ先

〒030 青森市長島1丁目1番1号

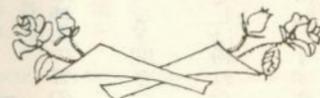
県環境保健部公衆衛生課衛生看護班

(☎0177②1111番内線3124番)

市民プールでの 忘れ物について

市民プールをご利用くださいました方々の忘れ物を保管しておりますので、お心あたりの方は、市都市建設課までご連絡ください。

(☎⑤2111番内線291番)



市町村別交通事故防止コンクール実施中

期間 12月31日まで

◎無免許、飲酒、暴走運転をしないこと、させないことが大切です。

新受入図書

市立図書館

書名	著者名	書名	著者名
情報が走る 世界が変わる	N H K 取材班	日本語で一番大事な もの	大野 晋
北からの日本史	北海道・東 北史研究会	辞書が面白くなる辞 書	辞書・ 事典研究会
蘇った古代の木乃伊	車田口章人	俳句添削読本	野澤 節子
人生の時刻表	神 一行	歌集竜飛岬	番場 允映
赤ちゃん命名宝典	渋谷 茂一	囀 采	阿久 悠
神功皇后発掘	高橋 政清	大人の時間	五木 寛之
サハラ風神	中村 稔	簡単な生活者の意見	秋山 駿
「筆洗」歳時記	林 伸太郎	はくの津軽	久藤 達郎
国会事典	浅野 一郎	人みな同じ	小嶋 倫
心のささえに	大橋 歩	NTTふれあい ツアー大賞100選	日本電信 電話編
父親の条件	ザルツ バーガー	二つの墓標	長尾 三郎
教育勅語の時代	加藤 地三	一茶の日記	北小路 健
わいわい学級	毎日学生 新聞	男たちの サラダ記念日	サラダ 倶楽部
暮しを彩る 和紙ちぎり絵	佐藤 せつ	有夫恋	時実 新子
はじめての台所	浅田 峰子	離婚はくちの場合	小山内 美江子
いま村に何が起きて いるか	津山 千恵	小説瀬戸大橋	井口 泰子
企業内 自由人のすすめ	徳光 和夫	バナマ運河の殺人	平岩 弓枝
アントニオ・ ペロス物語	大石 尚	明治十手架	山田風太郎
十七歳の地図	橋口 譲二	涙は ひとりで流すもの	大橋 歩

献血にご協力を!

今、病気や手術のために多くの方が血液を必要としています。「愛の献血」に市民の皆さん、深いご理解とご協力をお願いします。

期 日	時 間	場 所
10月7日 (金)	午前10時から 正午まで	市役所お祭り広場
	午後1時30分から 午後4時まで	マルトモデパート 駐車場
10月24日 (月)	午前10時から 午前11時30分まで	丸中五所川原 中央水産棟
	午後0時30分から 午後3時30分まで	県立 五所川原東高校

子宮がん・乳がん・甲状腺 検診のお知らせ

▷場所 市保健センター

▷受付時間 12:30~

月 日	対 象 地 区
10月5日 (水)	一ツ谷、鎌谷町、烏森、下り枝、弥生町、布屋町、本町、大町、東町、新町、旭町
10月6日 (木)	栄町、八重菊、柳町、岩木町、蓮沼、不魚住、田町、元町、川端町、寺町、錦町
10月7日 (金)	石岡 若葉
11月9日 (水)	三好地区
11月10日 (木)	栄地区(みどり町を除く)
11月15日 (火)	みどり町 小曲地区
11月16日 (水)	雑田、敷島町、上平井町、中平井町、下平井町、幾世森、新宮、新宮町、末広町、芭蕉、柏原町
11月17日 (木)	飯詰地区
11月18日 (金)	毘沙門地区 松島団地

休日・夜間の急病は

在宅医師の照会は消防署へ

☎34-4999番

(救急医療部会)

短

歌

五所川原短歌会

主の亡き碑読めば神山の谷の大樹に蟬の
声たつ 山上 和美
この国を世界とつなぎ開きつつ人を育く 小笠原 俊亮
むNHKも 佐藤 義則
十三の津の繁栄せしは粉れなく青磁の皿
の謂れをききぬ 大久保 勘三
秋の夜に羽ふるはしてすす虫の愛を呼ぶ
かに鳴き競へをり 喜代栄
望まざる核燃施設は着々と新幹線の悲願
またならず

みんなの健康教室

▷日 時 10月28日(金) 午後1時

▷場 所 市保健センター

▷講 師 楠美康夫 先生

(楠美泌尿器科医院長)

▷テーマ 「尿に血が混ったら」

主 催 北五医師会・市民保健協議会

